

# 日本医史学雑誌 第四十一卷第一号 目次

## 原著

|                                |              |    |
|--------------------------------|--------------|----|
| 日本におけるカスバル・シヤムベルゲルの活動について      | ヴォルフガング・ミヒエル | 三  |
| マルシリオ・フィチーノの健康論                | 伊藤 和行        | 六  |
| 済生学舎廃校後の各種講習会及び私立東京医学校・私立日本医学校 | 唐沢 信安        | 四一 |
| 研究ノート                          |              |    |

|                                 |       |    |
|---------------------------------|-------|----|
| シーボルトの臨床医学——『蘭方口伝(シーボルト驗方録)』の検討 | 中村 昭  | 五  |
| 長屋王家木簡の醬・味滓請求文書——『葛氏方』との関連から——  | 東野 浩之 | 二三 |
| 資料                              |       |    |

|             |         |    |
|-------------|---------|----|
| 池田文書の研究(十三) | 池田文書研究会 | 三三 |
| 追悼          |         |    |
| 追悼 赤松金芳先生   | 大村 敏郎   | 三三 |

|                                  |       |    |
|----------------------------------|-------|----|
| 記事                               |       |    |
| 消息                               |       |    |
| 第34回医史学研究会・日本医史学会関西支部一九九四年秋季合同総会 | 長門谷洋治 | 三三 |
| 例会抄録                             |       |    |
| ハンガリーのゼンメルワイスの遺跡を訪ねて             | 蒲原 宏  | 三五 |

|  |       |    |
|--|-------|----|
| A. Vesalius: Epitome のラテン語原典および独・蘭・仏・英語版の特色(一) | 近藤 均  | 三六 |
| ビデオ供覧「呉家の人びと(野間祐輔先生出演)」                        | 岡田 靖雄 | 三六 |

紹介

医療人類学研究会編『文化現象としての医療』……………津谷喜一郎 一三九  
 名古屋大学医学部整形外科同門会編集『名倉重雄伝』……………津山直一 一四一  
 千葉県立中央博物館編集『リンネと博物学―自然誌科学の源流―』……………木村陽二郎 一四三

〈本号の表紙絵〉

P. J. デソーと包帯固定法

ピエール・ジョゼフ・デソー (Pierre Joseph Desault, 1738~1795, 写真左) が亡くなって、今年200年目を迎えた。

この人物はわが国では「デソーの3帯」という鎖骨骨折の際の包帯固定法の名前で知られているが、フランス革命前後の医学教育の混乱期にパリのオテル・ディユ病院で外科の臨床教育に大きな力を発揮した人である。読み方はデソーが正しい。

自分で文献を残さなかったが、弟子のマリー・フランソア・グザヴィエ・ビシャール (Marie François Xavier Bichat, 1771~1802) がデソーの臨床講義録を出版している。写真右はその中に挿入されている「デソーの3帯」の図である。(大村 敏郎)